

☑平成 30 年度 事務事業評価(平成29年度実施事業事後評価)シート / 平成 31 年度 実施計画調書 (新規 拡充 縮小 休止・廃止 現状維持)

1 事務事業の基本情報 ☞ 位置付けられている計画等で『その他の計画』が複数ある場合は、代表的なものを1つ記入してください。また、該当する根拠法令及び市条例等が複数ある場合、代表的なものを1～2個記入してください。																				
事務事業名	体育振興事業費			補助区分	<input type="checkbox"/> 国補 <input type="checkbox"/> 県補 <input checked="" type="checkbox"/> 市単	終期	<input type="checkbox"/> 決まっている (平成 年度まで) <input checked="" type="checkbox"/> 決まっていない	予算科目	区分	一般会計			款	10	項	6	目	1	事業	3
担当部	教育委員会		担当課	スポーツ振興課		担当係	スポーツ振興 係		作成者	小川 正成		内線(電話番号)	8501		シート作成日	H30.10.16		部長決裁日	H30.10.23	
位置付けられている計画等	<input checked="" type="checkbox"/> じょうそう未来創生プラン前期基本計画 <input type="checkbox"/> 市長マニフェスト「常総創生への道しるべ」 <input type="checkbox"/> 常総市復興計画 <input type="checkbox"/> 市民等からの要望 <input type="checkbox"/> 常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略 <input checked="" type="checkbox"/> その他の計画 (名称 : 常総市スポーツ推進計画)				根拠法令及び市条例等		<input checked="" type="checkbox"/> 国の定める法律 (名称 : スポーツ基本法) <input type="checkbox"/> 国・県からの通達等 (名称 :) <input type="checkbox"/> 市の条例・要綱・規則等 (名称 :)													

2 事務事業の目的 ☞ 当該事業を実施することで、①「望ましい状態」とはどのような状態か? → ②一方で、「現状や課題」はどのようなか? → ③そのためには何をすべきか? という過程で考えていただいても結構です。													
現状課題	少子高齢化に伴い体育協会やスポーツ少年団への加盟団体の減少や国民体育大会開催を間近に控え、業務量増加に伴い職員の支援業務の負担増となっている現状を踏まえ、団体の事業運営が課題となっている。												
誰・何を対象に	市民で構成する各種スポーツ団体												
どのような方法・手順で	各種スポーツ団体が加盟する体育協会やスポーツ少年団の自主的な運営を図りながら、事業の支援を継続していく。												
望ましい状態	各種スポーツ団体が主体的に活動が展開するとともに、互いに交流し合うことでスポーツによる活力ある地域づくりができる状態にあること。												

3 事務事業の主たる成果指標 ☞ 数値目標(定量)の設定が困難な場合は、文言目標(定性)でも結構です。なお、指標名・目標値とも設定が困難な事業は空欄でも結構ですが、この場合、設定できない理由を分かりやすく・具体的に記入してください。														
指標名	加盟団体数		単位	団体		目標値	76		目標年次	平成 32 年度		指標及び目標値設定の考え方(又は指標・目標値を設定できない場合の理由)	少子高齢化の影響により、加盟団体数の減少傾向の中で、現在の加盟団体の維持を目標値とする。	

4 事務事業の実績 ① ☞ 当該事業の予算を使って、『どのような業務をどの程度実施したか。』を記入してください。なお、業務が12個以上ある場合、代表的なものを最大12個記入してください。																				
年度	平成27年度					平成28年度					平成29年度									
	業務名					業務名					業務名									
	活動量					活動量					活動量									
	① 常総市体育協会への補助 チャリティーゴルフ大会・地区対抗ゴルフ大会 社会人野球大会(春・秋) 学童野球大会(春・秋) 近隣中学校球技大会 ② 常総市スポーツ少年団への補助 夏季ジュニアリーダー研修会 体力テスト会 常総ブロック交流会					① 常総市体育協会への補助 復興チャリティーゴルフ大会・地区対抗ゴルフ大会 社会人野球大会(春・秋) 学童野球大会(春・秋) 近隣中学校球技大会 ② 常総市スポーツ少年団への補助 夏季ジュニアリーダー研修会 体力テスト会 常総ブロック交流会					① 常総市体育協会への補助 復興チャリティーゴルフ大会・地区対抗ゴルフ大会 社会人野球大会(春・秋) 学童野球大会(春・秋) 近隣中学校球技大会 ② 常総市スポーツ少年団への補助 夏季ジュニアリーダー研修会 体力テスト会 常総ブロック交流会									
目標値に対する実績値					76 団体					75 団体					76 団体					
決算額	計		8,399,000 円		内訳		特定財源 円		一般財源 8,399,000 円		計		8,399,000 円		内訳		特定財源 円		一般財源 8,399,000 円	
			(住民一人あたりの行政コスト)		136 円				(住民一人あたりの行政コスト)		138 円				(住民一人あたりの行政コスト)		139 円			

5 担当者評価 ② ☞ 実施したことによる成果や問題点を記入してください。													
成果	目標どおり 成果内容 平成29年度市スポーツ少年団事業運営及び市体育協会事業運営の支援 平成30年度全国スポーツ少年団茨城大会開催に向けての準備及び県・県西地区スポーツ少年団事業会議への参加。												
	問題点 各種目における市を代表となるスポーツ大会を各スポーツ団体が自主的に運営しているが市への補助金に依存傾向がある。組織の運営についても依存傾向にあり、所管する職員の負担が増加している。												
6 担当部長及び担当課長評価 ③ ☞ 担当部長・課長で協議のうえ、評価してください。													
事務事業の方向性													
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止													
評価理由 少子高齢化により、加盟団体数の減少傾向にあることから、事業の見直しを実施しながらスポーツ団体の増加を図る。													

7 実施計画 ④ ☞ 今後3年間の事業内容について、どのようなことを実施していくつもりなのか、具体的に記入してください。なお、予算額の『歳出の計』と『歳入の計』は一致させてください。																		
年度	平成30年度					平成31年度					平成32年度							
	業務名					業務名					業務名							
	活動量					活動量					活動量							
	1 常総市体育協会への補助 ① チャリティーゴルフ大会・地区対抗ゴルフ大会 ② 社会人野球大会(春・秋) ③ 学童野球大会(春・秋) ④ 近隣中学校球技大会 2 常総市スポーツ少年団への補助 ① 夏季ジュニアリーダー研修会 ② 体力テスト会 ③ 常総ブロック交流会 ④ 全国スポーツ少年団茨城大会					1 常総市体育協会への補助 ① チャリティーゴルフ大会・地区対抗ゴルフ大会 ② 社会人野球大会 ③ 学童野球大会 ④ 近隣中学校球技大会 2 常総市スポーツ少年団への補助 ① 夏季ジュニアリーダー研修会 ② 体力テスト会 ③ 常総ブロック交流会 ④ 日独スポーツ少年団交流(受入) 【参考】 ※県内過去3年間の事業決算平均金額 約160万円 平成27年 行方市 160万円 平成28年 つくば市 170万円 平成29年 牛久市 150万円					1 常総市体育協会への補助 ① チャリティーゴルフ大会・地区対抗ゴルフ大会 ② 社会人野球大会 ③ 学童野球大会 ④ 近隣中学校球技大会 2 常総市スポーツ少年団への補助 ① 夏季ジュニアリーダー研修会 ② 体力テスト会 ③ 常総ブロック交流会 ④ 日独スポーツ少年団交流(派遣)							
予算額	歳出		計		5,896 千円		歳出		計		6,750 千円		歳出		計		5,850 千円	
			特定財源		千円				特定財源		900 千円				特定財源		千円	
	歳入		一般財源		5,896 千円		歳入		一般財源		5,850 千円		歳入		一般財源		5,850 千円	
			計		5,896 千円				計		6,750 千円				計		5,850 千円	

8 財務アドバイザーの見解													
『常総市財政健全化計画』では、平成29～31年度までの3年間で約20億円の財源不足が生じる可能性が指摘されている。この厳しい財政状況の中で、本事務事業は費用対効果の増加が見られない。そのため、平成31年度の当初予算の要求において、その一般財源金額については平成30年度の一般財源予算額の水準で最大の効果を発揮できるよう、事務事業の内容と計画を見直すべきである。当該金額の枠内で最大の効果を発揮する、市民目線の筋力質な事務事業の計画と実行を期待する。													

9 行政改革懇談会(市民)の意見													
担当部長及び担当課長評価のとおりでよい。ただし、中学校の部活動による教員の過重労働が大きな課題となっている昨今、その受け皿として社会体育、社会教育の体制がまだ確立されていないため、検討していただきたい。中学校の運動部は中学校体育連盟に加盟しているが、近年は、中学校の部活動に参加せず、地域のスポーツクラブチームに所属する生徒が増えている。このような生徒は学校の部活動には参加できず、県の総合体育大会県西大会に出場できない。体育振興を大きく掲げているのであれば、部活動・クラブチームの両方の大会に出場できるよう見直しが必要であろう。国民体育大会開催時期である今だからこそ、学校の部活動とスポーツクラブとの風通しをよくするためにも、担当窓口を設置し、早急に協議に入るべきである。													

10 最終評価(行政改革推進本部) ⑤													
事務事業の方向性													
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止													
評価理由 多様な活動形態となった昨今、互いに交流が可能な事業の必要性は認めるものの、各大会の出場規約等の改正が必要となることから、市の担当レベルでの協議は難しいものと判断する。しかしながら、スポーツによる活力ある地域づくりのためには、市内競技団体と協力し振興事業は継続すべきである。													

11 事務事業の改善理由 ⑥ ☞ 実施計画のみ作成する場合の拡充・縮小・休止廃止部分もこの欄に記入してください。													
事業内容 各種団体への支援事業については、主催事業の見直しや職員の協力体制を調整し、職員人件費の削減に努める。しかし平成31年度及び平成32年度においては日本スポーツ少年団主催による、日独(日本・ドイツ)スポーツ少年団交流事業の受入れ派遣の担当になることが想定されるため補助金の増額として計上する。													